



苗木地方のペグマタイトから産出したトパーズの結晶

岐阜県中津川市苗木（根畑）
結晶高さ約 3cm [EA96170004]
トパーズの結晶の特徴がよくわかる標本
鉱物博物館常設展示室に展示中

鉱物博物館

新着標本・収蔵品展

7月18日(土)から

最近収蔵品に加わった標本を中心に、鉱物博物館が収蔵する鉱物・岩石の標本を展示します。

- 会 期 / 7月18日(土)～12月20日(日)
- 会 場 / 鉱物博物館 企画展示室
- 休館日 / 毎週月曜日 (詳しくは6ページをご参照ください)



天青石のジオード(晶洞)
マダガスカル産
標本左右約15cm [EB20020003]

(大林)

中山道歴史資料館

上期企画展 旅日記と古地図の眺め

9月29日(火)まで

今回の企画展は、旅日記と古地図を眺める企画展です。中津川宿の人々が仕事や私的な旅行で訪れた場所や、道筋を眺めて楽しんでもいただけたらと思い企画しました。今回は中山道歴史資料館で古文書を勉強している方々に展示のご協力をいただきました。中津川から伊勢、京都へ足を運んだ肥田馬風の「玄梧楼日記」から、訪れた場所を地図に書いて紹介していただいています。地図と見くらべながらご覧ください。

- 会 期 / 4月1日(水)～9月29日(火)
- 会 場 / 中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日 / 毎週月曜日 (詳しくは6ページをご参照ください)
- 入館無料日 / 7月5日(日)・8月1日(土)・9月5日(土)



「玄梧楼日記」紹介

(夏目)

苗木遠山史料館

企画展 美濃の刀と拵展(仮称) 9月5日(土)から

日本刀の魅力は刀身だけでなく、武士の顔とも言われる拵の美しさにもあります。

刀工、鞘氏、柄巻師、金工師といった各分野の職人技をご堪能ください。

- 会 期 / 9月5日(土)～9月27日(日)
- 会 場 / 苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉
- 休館日 / 毎週月曜日 (詳しくは6ページをご参照ください)



おしかた わきざし めい いずみのかみ かねさだ
拵型 「脇差 銘 和泉守藤原兼定作」

(所)

東山魁夷心の旅路館

第Ⅱ期展 空一時の移ろい

9月15日(火)まで

魁夷の描く空は、絵の背景としてだけではなく、主役となって時の移ろいを感じさせてくれます。

今回の展覧会では、空の表現に注目し、日本各地をはじめ中国・北欧など様々な地域を描いた情緒あふれる作品を展示しています。

魁夷は制作初めの段階で、綿密に画面構成を練り、最も主題を引き立たせるために効果的な空の配置や表現方法を模索しました。

それぞれの作品に描かれた「空」の表情にぜひ注目してご鑑賞いただきたいと思います。

- 会 期 / 6月18日(木)～9月15日(火)
- 会 場 / 東山魁夷心の旅路館 展示室
- 休館日 / 毎週水曜日 (詳しくは6ページをご参照ください)
- 入館無料日 / 8月2日(日)



綿雲・習作 (リトグラフ)



緑の窓 (リトグラフ)

(上田)

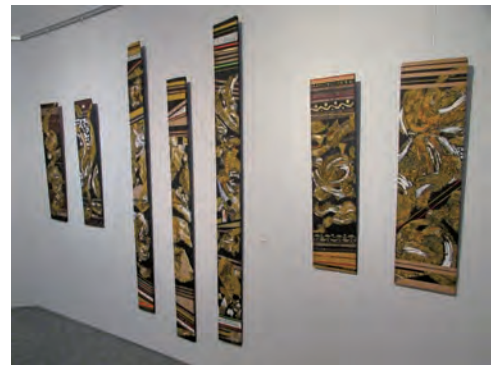
熊谷榎つけちギャラリー

第Ⅰ期展 記憶の風景 下総しげおの作品展

8月30日(日)まで

“岐阜の東濃に生まれ育ち、生活してきた者でしか表現できない「井の中の蛙」作品を心掛け制作活動を続けている”という下総の、自らの体験とその時々感情を表現した作品約60点を展示しています。

- 会 期 / 4月10日(金)～8月30日(日)
- 会 場 / 熊谷榎つけちギャラリー



第Ⅱ期展 言葉の真実を追究した書家—「高橋豊念の世界」展 (仮称)

9月4日(金)から

元中学校教諭で、中津川文化会館館長を勤めた書家・高橋豊念(本名守二)。高橋は生への執着から脱却し、常に生かされていることを意識し作品を書き続けました。

まるで絵画のような文字を書いた高橋豊念の世界をご紹介します。

- 会 期 / 9月4日(金)～12月25日(金)
- 会 場 / 熊谷榎つけちギャラリー
- 入館無料日 / 9月21日(月・祝)



高橋豊念 (本名: 守二)
昭和4年(1929)～平成26年(2014)

- 開館日 / 金・土・日および国民の祝休日

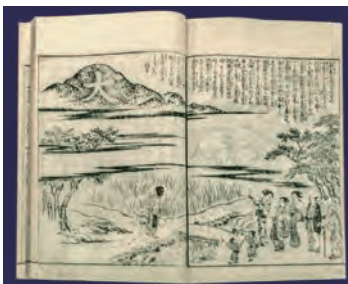
(上田)

中山道歴史資料館

江戸時代の案内書 **名所図会**

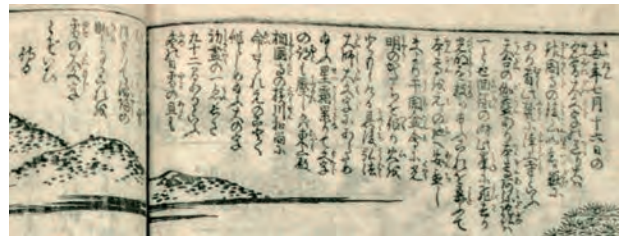
京都出身の読本作者である秋里籬島は、数々の名所図会を刊行しています。名所図会とは名所・神社仏閣・景勝地などの由緒来歴や伝説などを記した本です。それまで主流だった名所記とは違い、鳥瞰図のような上から見た挿絵が多く使われているため、絵だけでも楽しむことができます。客観的に見た文章は読みやすく、その場所を訪れた際に案内書として使える実用的な本でもあります。作者の秋里籬島は画工を連れて各所を回り、数十冊に及ぶ名所図会を刊行し、注目を集めました。「木曾路名所図会」では中津川も紹介されています。

今回の企画展では「都名所図会 巻之一～三」を展示しています。「都名所図会」は最初の名所図会として1780年に刊行されました。上記の名所などの他にも大文字の送り火などの季節の行事も紹介しています。



「都名所図会」大文字の送り火

毎年七月十六日の夕暮れ 大文字の送り火は銀閣寺の後山如意が嶽にあり
 (略)
 大の字初画一点の長さ九十二間ありといふ
 冬の日雪の旦も此文字跡に雪つもりて洛陽の眺となる これを雪の大文字といひ侍る



左写真上部の拡大

(夏目)

苗木遠山史料館

苗木藩主も「麒麟がくる」のを待った！

6代藩主遠山友将は、8歳で相続し18歳で病死しました(1732年)。父(5代友由)も病弱で、亡くなったのは27歳でした。嫡男友将は幼少から病弱でしたが、書画を嗜んだので書や絵画などは残されています。

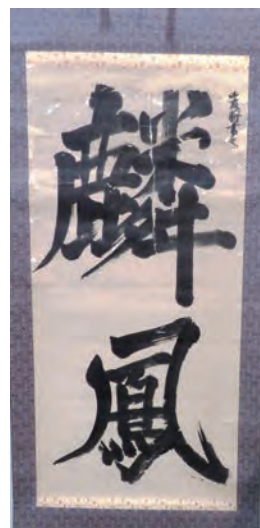
写真の「麟鳳」と「亀龍」の書軸(54×120cm)は、友将が今なら中学か高校生の頃に書いた作品でしょう。

大河ドラマ「麒麟がくる」で明智光秀の美濃が注目されますが、中国の伝承では、偉大な人が世に現れ、この世を改める、その人の登場の前触れに麒麟が出現するといわれ、戦国の混乱から「天下人」(信長・秀吉・家康)の出現を予兆したものでしょうか。

「麟鳳」とは、麒麟と鳳凰をいい、どちらも偉人の出現を前触れするもののようです。

友将のもう一つの書「亀龍」は、霊亀と應龍を表します。霊亀と應龍は長生きといわれ、亀龍は長生きを願い祝う言葉のようです。

この麒麟・鳳凰・霊亀・應龍の四つの獣を「四瑞」といい、友将は書軸2本でこれを表したのでしょう。しかし彼を救う「救世主」は期待通りには現れず、長生きの期待も友将にはかなわず、書跡を残して若き藩主は世を去りました。今、それをしのびます。



(千早)

トパーズ

水晶（石英）とともに鉱物産地・苗木地方を代表する鉱物のひとつがトパーズです。11月の誕生石としても知られ、宝石となる鉱物でもあります。宝石としてはブラジル産などの黄橙色の結晶が有名ですが、もともとは無色透明の鉱物です。

無色の小ぶりの結晶は、水晶と見分けづらいことがあります。トパーズと水晶（石英の自形結晶）を見分けるときのひとつの手掛かりになるのが条線と呼ばれる結晶表面の線状構造の向きです。写真は、トパーズの特徴的な条線がよく見える結晶の標本です。



トパーズ Topaz
岐阜県中津川市苗木（根畑）
結晶の表面に縦方向の条線が見える
結晶高さ約3 cm [EA96170004]

（大林）

東山魁夷心の旅路館



秋翳
ニッサヤ・ベラールN方式
（原画：1958年制作
東京国立近代美術館蔵）

しゅう えい 秋翳

本作の本画は1958年（昭和33年）、第一回新日展に出品されました。縦1 m60cm、横1 m67cm余りの大画面に描かれ、ほぼ正方形ともいえる画面に三角形の紅葉の山が描かれています。東京国立近代美術館に収蔵されていますので、ご覧になったことがある方もいらっしゃるかもしれません。東山魁夷50歳、この作品をもって東山芸術は円熟の幕開けをつけました。

今回の展示品は縦54cm、横56.5cmの複製画で、本画の約1/3の大きさです。大変シンプルな構図で、東山本人も「これ以上単純な構図はない」と語っていますが、空を広くとることによって、赤（山）とグレー（空）の二つの色のバランスをとろうと巧みに練られた構図です。空はうっすらと桃色がかかり、山の樹々は橙や黄色、紅やピンクなど様々な「赤」で描かれ、形と色相を微妙に変化させ、自然の様子を見事に表現しています。構図と色調のはっきりした意図をもった作品ですが、画家がこれによって表現したかったものは、秋の紅葉の山にみる冬の凋落（ちようらく）を前にしての、自然の豊かで静かなたたずまいです。

紅葉の山というものは、秋晴れの青空を背景に描くと、赤や黄色の色彩がその明度を増してひと際鮮やかに見えるものですが、東山はある時の旅で、少し薄曇りの空の下に紅葉の山のひとつひとつの樹々が、落ち着いた赤い色で静かに息づいている情景に心を打たれました。いつかこれを表現したい、そう心にとどめていた風景を描いた作品です。

（上田）

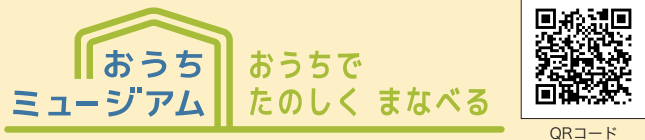
鉱物博物館

WEBミュージアムを公開しました

鉱物博物館の公式ウェブサイト「WEBミュージアム」を公開しました。常設展示やこれまでに開催した企画展の内容を再構成したオンラインコンテンツで、地域学習などに活用できるものを中心にコンテンツを充実させていきます。

鉱物博物館は、この「WEBミュージアム」で北海道博物館が企画した「おうちミュージアム」の取り組みに参加しています。

この企画は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校の休校期間や博物館の臨時休館の間、全国のミュージアムが「おうちミュージアム」として館内の情報を発信したり、自宅で学べるコンテンツを紹介しているものです。おうちでミュージアムを楽しみましょう！



子ども科学館

過去と現代の乗り物比較展

子ども科学館では、過去の乗り物「北恵那鉄道」と現代の乗り物「リアモーターカー」の展示をご覧ください。

かつて日本一遅い電車といわれ、中津町と下付知の間22.1kmを走行していた北恵那鉄道のジオラマ、北恵那電車の写真、当時の切符、レールなどを展示しています。ジオラマの北恵那電車を走らせることもできます。

リアモーターカーの展示では、2027年開業予定のリア中央新幹線のように、浮上して走るリアモーターカーの模型を展示しています。こちらも模型を走行させ、浮上して走る様子をご覧ください。



北恵那電車

寄贈を受けました 2020年3月～5月受贈分

- | | | |
|---------|-------|---------|
| 苗木遠山史料館 | 亀山正巳様 | 土人形260点 |
| | 吉村厚美様 | 短刀他一式 |
| 鉱物博物館 | 上浦清彦様 | 鉱物標本他一式 |
| | 笠原優也様 | 鉱物標本3点 |
| | 西戸裕嗣様 | 人工鉱物他一式 |
- ありがとうございました。

入館無料日のご案内

- 中山道歴史資料館 7月5日(日)・8月1日(土)・9月5日(土)
- 東山魁夷心の旅路館 8月2日(日)
- 苗木遠山史料館 8月9日(日)
- 熊谷榎つけちギャラリー 9月21日(月・祝)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、催し・予定が変更・中止になる場合があります。最新情報はWEBでお知らせします。

休館日

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

□ 東山魁夷心の旅路館の休館日 青字は子ども科学館の休館日
 ■ 鉱物博物館、苗木遠山史料館、中山道歴史資料館の休館日 *臨時休館日 中山道歴史資料館 9月30日(水)
 熊谷榎つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク
中津川市鉱物博物館
 〒508-0101 中津川市苗木639番地の15
 JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分
 FAX 0573-67-2110
 ☎ 0573-67-2110 <http://mineral.n-muse.jp>

わくわくドーム
中津川市子ども科学館
 〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1
 JR中津川駅から徒歩約20分
 FAX 0573-66-9171
 ☎ 0573-66-9090 <http://kodomo.n-muse.jp>

苗木城跡歴史の広場
中津川市苗木遠山史料館
 〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2
 JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分
 FAX 0573-66-9290
 ☎ 0573-66-8181 <http://naegi-toyama.n-muse.jp>

中津川宿を中心とした歴史の旅
中津川市中山道歴史資料館
 〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号
 JR中津川駅から徒歩約10分
 FAX 0573-66-7021
 ☎ 0573-66-6888 <http://nakasendo.n-muse.jp>

木曾谷に抱かれた美術館
中津川市東山魁夷心の旅路館
 〒508-0501 中津川市山口1番地15
 中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣母内」
 FAX 0573-75-5225
 ☎ 0573-75-5222 <http://kaii.n-muse.jp>

山と青川の小さな美術館
熊谷榎つけちギャラリー
 〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52
 (オートピア付知交芸プラザ内)
 中央自動車道「中津川IC」から車で約40分
 ☎ 0573-82-4911 <http://www.kaya-kumagai.jp>